

令和元年度 奈良県大芸術祭 奈良県障害者大芸術祭

「文化の力で奈良を元気に！」

実施計画(案)

奈良県大芸術祭実行委員会事務局
奈良県障害者大芸術祭実行委員会事務局
(奈良県地域振興部文化振興課)

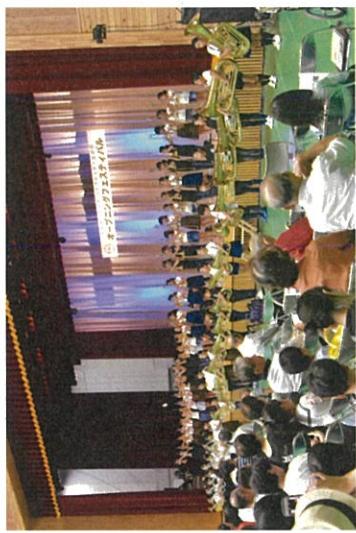
平成30年度の振り返り

テーマ「文化の力で奈良を元気に！」

・平成29年度に「国民文化祭」と「全国障害者芸術・文化祭」を全国で初めて一体開催したことを契機として、平成30年度は、「奈良県大芸術祭」と「奈良県障害者大芸術祭」を一体開催しました。

・実行委員会主催イベントと、民間等の文化芸術団体が主催した「音楽」「演劇」「芸能」「舞踊」「美術」などの幅広いジャンルのイベントとをあわせて714催事開催しました。

・また、来場者数も、163万人にのぼり、多くの県民をはじめとする皆さまに、県内各地で芸術文化を楽しんできました。

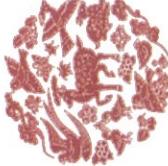


令和元年度の方針

「文化の力で奈良を元気に！」をテーマに、「奈良県大芸術祭」と「奈良県障害者大芸術祭」を一体開催し、県全域でイベントを開催し、2020年の東京オリンピックに向けて、文化を奈良のブランドとして力強く発信する。

実施方針

- 障害のある人との「交流・共創」、車いす席・手話通訳者の設置、点字資料作成など、障害のある人も参加しやすいイベント運営を実施
- 市町村、社寺と連携し、奈良の歴史文化資源の魅力を協働で発信することで、奈良県全体の文化力を向上
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、文化を奈良のブランドとして力強く発信
- 幅広い世代が参加し楽しめるイベントを開催し、県民の芸術文化活動の裾野を拡大



令和元年度の実施概要・目標

タイトル／「奈良県大芸術祭」「奈良県障害者大芸術祭」

テーマ／文化の力で奈良を元気に！

期間／令和元年9月1日(日)～11月30日(土)

会場／奈良県内各地

主催／奈良県大芸術祭実行委員会

奈良県障害者大芸術祭実行委員会

奈良県／目標

イベント数／800催事

(H30:714催事)



広報展開①(案)

◎「奈良県大芸祭・障芸祭Walker」の発行

昨年度に引き続き、「奈良県大芸祭・障芸祭Walker」を発行する。「関西Walker」に挟み込むことで、**関西Walkerの知名度やブランド力を活用するほか、フリー配布分を制作し、各施設やイベントで配布する。**

また、発行後に発売の「関西Walker」(8月～11月)に1頁分の掲載を確保し「大芸祭・障芸祭通信」として継続した情報発信を行う。**誌面構成においては、目次の充実等による索引性の向上に努める。**

◆発行日：2019年8月9日(金)

◆部数：11万部(関西Walker挟み込み 約3万部 フリー配布8万部)
◆その他：「大芸祭・障芸祭通信」の関西Walker掲載 計7回

◎開催報告書の作成

期間中に各地で開催されたイベントの報告書を作成することにより、芸術文化団体の継続した参加意欲を高めるとともに、新規参加団体を掘り起こし、来年度に向けた機運醸成を図る。

◆発行日：2020年3月上旬
◆部数：2千部(予定)



広報展開②（案）

◎公式ホームページの運用

奈良県大芸術祭、奈良県障害者大芸術祭に参加している芸術文化団体が、公式ホームページ内での情報を随時更新できるように設定するとともに、参加団体の情報をデータベース化し、昨年度イベントを参照してイベント登録できるようになります。

さらに、トップページの実行委員会主催イベントや参加団体主催イベントの情報表示エリアにおいて、閲覧日当日にのみ開催しているイベントを最優先で表示できるようになります。
表示方法の改善を行い発信力の強化を図る。



◎大芸祭・障芸祭のPR映像の制作

今年度実施する奈良県大芸術祭、奈良県障害者大芸術祭のイベントを動画撮影し、来年度の参加者拡大に向けたプロモーション映像を制作する。

また、完成した映像は、デジタルサイネージや大芸祭・障芸祭HPで活用する。



広報展開③（案）

◎その他広報展開

TV等で活躍する‘光のダンスユニット’「EL SQUAD」とせんとくんがコラボした大芸祭・障芸祭PR映像による広報や近鉄奈良駅での大横断幕、鉄道やバス車内の中吊り広告、各駅構内でのポスター掲示、SNS活用、のぼり等による情報発信を行う。



◎障害のある人への情報保障

「大芸祭・障芸祭ガイドブック」の点字版や視覚障害の補助となる音声コード付きのチラシの作成等、情報保障に配慮する。

◎応援センター(ボランティアスタッフ)の活用[新規]

大芸祭・障芸祭の主催イベントに応援サポーターとしてボランティアスタッフを活用することにより、**大芸祭・障芸祭を周知するとともに、新たなファンの創出にもつなげる。**

イベント展開（案）オープニング・クロージング

◎オープニングイベント

3ヶ月にわたり開催する両芸術祭の周知を目的にオープニングを華々しく開催するとともに、障害のあるなしに関わらず、多くの方が芸術文化に触れる機会を創出し文化振興を図る。

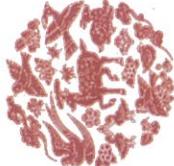
- ◆開催日：2019年9月1日(日)
- ◆場所：五條市上野公園総合体育館（シダーアリーナ）
- ◆内容：目玉となるプロアーティストによるパフォーマンス
(川嶋あい、EL SQUADほか)
- 五條市内の中学校吹奏楽部による合同演奏
障害のあるアーティストによるパフォーマンス



◎クロージングイベント [新規]

両芸術祭のフィナーレとして、3か月間を振り返りつつ、芸術文化活動を楽しみまたその活動を通じて障害のある人とない人の交流を促進させていく機運の醸成を図る。

- ◆開催日：2019年11月30日(土)
- ◆場所：奈良公園バスターミナル（レクチャーホール）
- ◆内容：県内で活躍するアーティストによるパフォーマンス
障害のあるアーティストによるパフォーマンス



イベント開催（案） 障害者交流①

◎まほろばあいのわコシンサート

音楽を通して障害のある人とない人の新たな出会いや交流を創出することを目的に、コシンサートを開催する。コシンサートの開催に先立ち、障害のある人とない人を分けへだてすることなく公募し、3回の事前練習会を行い本番公演に臨む。

- ◆開催日：2019年11月4日(月・祝)
- ◆場所：DMG MORI やまと郡山城ホール 大ホール
- ◆内 容：音楽監督 松本真理子さんの指揮の元、公募出演者とゲスト出演者のコラボ／パフォーマンス等の披露



◎(仮称)障害者アート展

県内の障害のある人のアート作品の魅力を広く伝える展覧会を開催する。また、視覚に障害のある人も楽しめよう、触って感じる、音で楽しむなどの体感型の要素を取り入れた展示も行う。

○プレ展示

- ◆開催日：2019年10月1日(火)～10月6日(日)
- ◆場所：奈良県立図書情報館エントランスホール
- 本展示
- ◆開催日：2019年11月9日(土)～11月15日(金)
- ◆場所：奈良県文化会館 展示室A、B
- ◆内 容：障害のある方のアート作品展覧会





09

イベント展開（案） 障害者交流②

◎ビッグ幡（ばん）in 東大寺

日本の自然にあらわれる美しいものを象徴した「花鳥風月」をテーマに
全国の障害のある人から「幡」のデザインを募集する。応募作品を多くの
方が訪れる東大寺大仏殿前に掲揚するプロジェクト。

- ◆開催日：2019年11月9日（土）～11月17日（日）
- ◆場所：東大寺大仏殿前（ほか）
- ◆内容：選考した64作品を「幡」にデザインして東大寺大仏殿前に掲揚
応募全作品の原画を奈良県文化会館に展示。



◎プライベート美術館

県内の障害のある人のアートを日常の中で楽しむプロジェクト。障害のある人が
描いた絵画を身近なまちなかで展示することにより、障害のある人の自己表現の場を確保する。
また、店舗の客、店舗スタッフ、作品制作者等がともに作品を
鑑賞することにより、障害のある人とない人の「交流・共創」を目指す。

- ◆開催日：2019年10月19日（土）～11月4日（月・祝）
- ◆場所：県内主要駅周辺店舗（ほか）
- ◆内容：県内各地のカフェや町家、社寺などで障害のある人の作品を展示。

